

みなみじゅうじせい



【学校教育目標】笑顔いっぱい

～やる気・やさしさ・根気強さのある みなみっ子の育成を図る～
長崎市立南長崎小学校 校長 宇土 衛

平和ってなんだろう

今から80年前の今日この日。長崎に1発の爆弾が落とされました。通常の爆弾とは違う、「原子爆弾」と呼ばれるこの恐ろしい殺人兵器は、一瞬のうちに長崎の町を焼き尽くし、そこに暮らす人々の尊い命を奪ったのです。さらにこの原子爆弾による被害は今も続いており、その被害者は延べ10万人をゆうに超えています。

今日、南長崎小学校では全校児童による「平和祈念集会」がオンラインで開かれました。5年生の平和学習発表を聞いたり、各学級の「平和宣言」を発表したりと充実した平和学習となりました。

さて、少し古い話になりますが、10数年前の8月7日付けの長崎新聞に、原爆によって被爆された滝川セキさんの話が載っていました。とても印象深く読ませていただいたのを覚えています。

「反核・平和の訴えを受け継いでくれる人は、いつかなくなるかもしれない。若い人はどうしたら目を向けてくれるだろうか。みんな仕事もあるだろうし、考え方も違う。無理強いはできない。どうすればいいかわからない。ただ、自分はこれからも、いつまでも訴え続けようと決めている。あの日の惨状を目に焼き付けた一人として。」

この「反核・平和の訴え」は、【交流証言者】の若い人たちへ受け継がれています。

また、今日の祈念集会では、校長講話の中で、長崎市以外での被害や反核・平和の状況について話しました。東京都板橋区には、立像の【平和祈念像】があること。北九州市小倉北区勝山公園には【長崎の鐘】が建立されていること。



東京や沖縄、そして身近な佐世保市も大空襲に見舞われ、多くの方々が亡くなったこと、などです。まずは長崎における被害、そして他の地域や海外における被害等を「知ること」、そしてそれを「伝えること」が大切だということを話しました。

【喉もと過ぎれば熱さを忘れる】そんな諺がありますが、戦争に関してはそれでは絶対にいけないのです。私も実際の戦争は知りませんし、その苦しみも直接には感じる事ができません。しかし戦争の話を聞くだけでも、また、そのことを誰かと語り合うだけでも恐ろしさを感じることができ、それが「平和を！」と願う気持ちになるのではないのでしょうか。

今日一日は、今、私たちの周りにある平和について、ぜひ家族みんなで考えてみて欲しいと思います。